



# 果樹特報 No.6

令和6年6月17日  
JA中野市営農センター  
JA中野市りんご・もも部会

中野市全体でいぼ皮病が多発しています。果実に感染すると輪紋病になるので樹全体に薬液がかかるように散布量を多めに設定し万遍なく散布してください。

## 【輪紋病 特別散布】 \*再掲

【特別散布】 散布日

\_\_\_ 月 \_\_\_ 日 ( )

散布量

\_\_\_ ℓ

散布時期	7/1~5 頃		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	
	IC ボルドー412	3.3kg	( - 、 - )
対象病害虫	輪紋病、黒星病、炭そ病、斑点落葉病、モニリア病		
散布量	600ℓ / 10a		
注意事項	汚れ防止のため、早生種には散布しない。		

## 【第9回 定期散布】

【定期散布】 散布日

\_\_\_ 月 \_\_\_ 日 ( )

散布量

\_\_\_ ℓ

\*散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

散布時期	7/6~13 *前回から 14 日以内		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤 (スカッシュ)	100ml	
	キノドー顆粒水和剤	100g	(14 日前、4 回)
	エコマイルト顆粒水和剤	50g	(前日、1 回)
	オーソサイド水和剤 80	125g	(前日、6 回)
	劇 オリオン水和剤 40	100g	(前日、2 回)
対象病害虫	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病、褐斑病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類、ナミハダニ、リンゴハダニ		
散布量	600ℓ / 10a		
注意事項	<p>①【シンクイムシ類対策】 オリオン水和剤 40 に代えて、劇 モスピラン顆粒水溶剤の 2,000 倍 (前日、3 回) を使用する。</p> <p>②【代替】 キノドー顆粒水和剤に代えて、ベルコートフロアブルの 1,500 倍 (前日、3 回) でもよい。</p> <p>③【ドリフト注意】 エコマイルトはりんご、おうとう、ぶどう、なし以外登録がないので飛散しないように注意する。</p> <p>④オリオン水和剤 40 は劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をご持参ください。</p>		

次面もご覧ください。(第 10 回定期散布 他)

## 【第10回 定期散布】

【定期散布】散布日

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日(\_\_\_\_)

散布量

\_\_\_\_\_ℓ

\*散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

散布時期	7/20~7/27 *前回から14日以内		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤 (スカッシュ)	100ml	
	マイトコーネフロアブル	100ml	(前日、1回)
	エクシレルSE	20ml	(前日、3回)
	ダイパワー水和剤	100g	(前日、3回)
対象病害虫	輪紋病、炭そ病、褐斑病、斑点落葉病、シンクイムシ類、キンモンホソガ、ナミハダニ、リンゴハダニ		
散布量	600ℓ / 10a		
注意事項	①【シンクイムシ類対策】エクシレルSEに代えて、アーデントフロアブルの2,000倍(前日、3回)を使用する。 ②【カイガラムシ類対策】トランスフォームフロアブルの2,000倍(前日、3回)を加用する。		

### ●新梢管理のポイント

樹体生育や着果量を観察し「新梢発生が多く、発生した新梢伸長が旺盛な場合」「新梢が込み合っていて薬剤が通らない場合」は実施する。

☆ 時期：新梢管理は6~7月上旬までに一度実施する。7~8月は花芽分化・形成期に当たるため、この時期に葉を多く落とすと停止した芽(頂芽)が再伸長し、花芽分化が劣る。また、晩生種については9~10月の着色管理の時期にも実施する。

☆ 方法：普通樹の骨格枝背面の徒長枝となりそうな新梢、長く伸長している新梢や冬季に切っておくべき枝を中心に切除する。骨格枝背面は全て切除すると骨格枝の日焼けを起こすため、適度に残すようにする。新梢を切りすぎないように注意する。徒長枝の切り取りは、できるだけ基部から行う。基部を残して切ると残った部分から新たに、多数の徒長枝が発生したり、腐らん病の侵入源となったりする。

次回発行予定

7/17(月)